



発行者  
止々呂美小地区  
福祉会



### 会長挨拶



山田吉春

平素は止々呂美小地区福祉会に多くのご協力ご支援を賜り心から感謝申し上げます。さて本年度を振り返りますと、三年目のコロナ禍により活動も思うようにできませんでした。私たち福祉会は、地区の中で住民の皆様にも安心して支え合いの繋がりを提供できないかと考えています。今年には新しい取り組みとして年末に高齢者宅にふれあい訪問をしました。お元気ですかとタオルを持って行きました。夏は盆踊り実行委員会に協力しました。盆踊り実行委員会に協力して行った盆踊り大会は三年ぶりということもあり、五百名以上の参加があり、大盛況でした。世界的には二月にロシアによるウクライナ侵攻が始まり未だ終息して

いません。十一月には世界人口が八十億人を突破したと発表されました。世界規模で考えると、エネルギーや食糧は大丈夫なんでしょうか。難しい問題ばかりです。私たちは、身近なこの地域で今できることを仲良く楽しく暮らしていきたいものです。令和五年度は、もっと意義のある活動ができますように願っています。



### 令和四年度止々呂美小地区福祉会スタツフ(敬称略)

- |         |       |
|---------|-------|
| 会長      | 山田吉春  |
| 副会長(補佐) | 奥村茂樹  |
| 副会長(総務) | 辻本朋子  |
| 会計      | 角野富三郎 |
| 民生委員    | 西野喜佐子 |
| 民生委員    | 関隆徳   |
| 民生委員    | 大西貞夫  |
| 民生委員    | 塩山定夫  |
| 相談役     | 馬場元和  |
| 相談役     | 尾崎孝   |
| 地区委員    | 川西一弘  |
| 上の所     | 奥村實   |
| 上の所     | 小上宇多子 |
| 北の所     | 古久保林代 |
| 北の所     | 久保美代子 |
| 馬場の所    | 森川和恵  |
| 前の所     | 谷村浩   |
| 前の所     | 中井幸一  |
| 奥の所     | 森本茂司  |
| 奥の所     | 尾上律子  |
| 下の所     | 中上洋子  |
| 下の所     | 森脇トメ子 |
| 西の所     | 尾上卓司  |
| 西の所     | 多田恵美  |
| 森町中一    | 小林加奈子 |
| 森町中二    | 佐藤由紀  |
| 森町中三    | 寺田真代  |
| 森町北一・二  | 寺川幸夫  |
| 森町南一・二  | 大町真由子 |
| 森町全域    | 井上とし子 |

### 令和四年度 止々呂美小地区 福祉会協力金

止々呂美小地区で合計二十三万円集まりました。(令和五年一月末現在)

- 内訳
- 協力金 一三五、〇〇〇円
  - 特別協力金 九五、〇〇〇円
  - (一〇五千元以上の個人含む)

- 特別協力金受領事業所
- ・中川クリニックしんまち診療所
  - ・日鉄鉱業(株)
  - ・特別養護老人ホーム照葉の里
  - ・セブン・イレブン箕面森町南店
  - ・照葉の里箕面病院
  - ・ショップかわもと
  - ・(有)古川自動車
  - ・とろみ荘
  - ・森脇石油
- (順不同・敬称略)

協力金の六十%は、地区福祉会の活動財源として、福祉活動に充てられます。

**ご協力ありがとうございました！**

# 新駐在さん紹介

竹森 仁



## 〇元気はつらつ頑張る

高齢者表彰  
(敬称略)

浅ヶ谷内 紘子  
角野 富三郎  
寺内 勇

## 〇米寿お祝い

(敬称略)

西林 マチ子  
古久保 純三  
谷端 伸一  
西谷 和彦

おめでとうございます  
ございます

昨年四月より、大阪府箕面警察署止々呂美駐在所へ着任となり、半年が過ぎました。この間、皆様には多くの御協力を頂き、本当に感謝しております。

まず最初に、皆様にお願ひがあるのですが、最近では高齢者を狙った特殊詐欺被害が多発し、箕面市でもその現金被害が確認されております。犯人は市役所、警察官、百貨店、銀行等をかたり、「キャッシュカードの交換、還付金、犯罪捜査」等を名目に、言葉巧みにカードや現金を欺し取るうとします。見知らぬ者からの、こういった電話への対応はせず、直ぐに電話を切り、家族、警察への相談をお願い致します。

それではご挨拶に戻りたいと思います。止々呂美駐在所管内は、猿や鹿が出没したり、この春には熊の目撃情報まであるなど、止々呂美の大自然には驚かされました。しかし一方で、人口約六千人に達する勢いの、森町という大きく閑静な住宅街があり、私にとつては「村の駐在さん」と「街のお巡りさん」という、二つの顔で、毎日勤務をしております。

そんな中、嬉しいことがあります。

駐在所の活動として、学校の登下校警戒を毎日行っているのですが、着任当初学校付近に立つ私を見て「この警察官だれ」といった顔をしていた小学生たちが、毎日の登下校警戒を続ける中で、多くの子が登校時に、「早よ学校行かな遅れるよ」と言わなければならぬほど、毎日の出来事をいつまでも楽しく話してくれるようになりました。

この小さな嬉しい喜びが、私の活力源となっております。

コロナコロナで、マスク越しにしか子どもたちの笑顔を見ることは出来ない毎日ですが、これからもこの子たちの笑顔が見続けられるよう、そのご両親、おじいちゃんおばあちゃんを地域の方と一緒に、犯罪や事故から守り続けられるよう、「駐在さんとお巡りさん」の両輪で、日々の業務を努めていきたいと思っております。

地域の皆様には今後ともご協力、ご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。



### 止々呂美ふれあい 盆踊り大会

大西貞夫

「コロナ感染拡大のため数年中止となっていた「止々呂美ふれあい盆踊り大会」が三年ぶりにスノーピーク箕面自然館広場で開催されました。皆様待ちかねたように、実にたくさんの方が参加されました。

私は毎年盆踊り風景写真の撮影を担当していますが、今年はたくさんの方の参加者だったので、あの広いスノーピーク箕面自然館広場の撮影場所を移動するのも人波を掻き分けかき分け、ちよつと一苦労でした。

今年は出店も少なく、恒例の花火もなかったのですが、皆様楽しそうに過ごされていたのが印象的でした。来年もまた今年以上の賑わいのある「止々呂美ふれあい盆踊り大会」が開催されますことを祈っております。



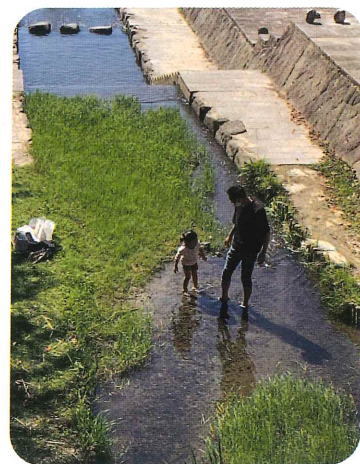
### 赤い羽根共同募金

馬場元和

十月二日曜日にキューズモールで活動しました。

当日は、太陽が当たっていると暑いくらいの気候になり、近くの千里川、せせらぎ公園では、水遊びをする家族連れがおられました。

連絡通路の一階の日陰で、世間のコロナ感染拡大防止を考慮し、声をあまり出さず手持ちチラシにより、皆様の暖かいお気持ちを頂きました。「赤い羽根」は寄付をしたことを表す「共同募金」のシンボルとして、「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」の意味が込め



られています。全国一斉に運動期間は、十月一日から三月三十一日までの六か月間です。

ただ考えるに「募金は善意で自由」、福祉会として強制ではない、と言いつながら福祉会会員の貴重な時間を使っています。各種団体として、「お願いします」ではなく、「寄付・募金をお預かりします」の気持ちで…。この善意は、今後子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられます。

「じぶんの町を良くするしくみ」として、お預かりした募金の使い道は後日、市のホームページ等でご報告致します。当日ご協力頂きました方々、ありがとうございます。

## 上止々呂美秋祭り

尾崎 孝

十月二十三日は止々呂美神社の秋祭りの日です。私は神社総代の一人として秋季例大祭を執り行うこととなります。毎年二十三日は平日ですが、今年は日曜日になりました。そして何より長い間コロナ禍で中止になっていた、だんじりが出ることになりました。それも上止々呂美、下止々呂美そろってということですが、上止々呂美は神社境内展示ということですが、両方が出ることは何年ぶりのことでしょう。

当日は快晴で絶好のだんじり巡行日和です。厳粛なうちに



秋祭りの神事が終わり、神社境内で今日一日の安全を祈念する乾杯後それぞれのだんじりへと帰っていききました。上止々呂美は境内で子ども達による鉦と太鼓の祭り囃子が響き渡り、今日の為に練習してきた成果を見事に披露してくれ、コロナ禍で沈んだ気持ちを晴らしてくれました。下止々呂美のだんじりも地域を巡行しその勇姿を見て日常に戻った喜びをかみしめたことでしょう。

今年は大きな災害もなく、秋の収穫も順調でした。これでコロナが終結し来年もこの姿を見ることのできることを期待する一日でした。

## 下止々呂美 だんじり巡行

森本 茂司

コロナ禍の影響で中止されていた下止々呂美地区の伝統行事、秋祭り地車巡行が三年ぶりに十月二十二日(宵宮)、二十三日(本宮)の両日にわたって行われました。

二十二日朝八時に地車小屋に集合し、地車をJA物産センターまで移動。いよいよ飾り付けに入ります。まず地車の屋根に杉葉を敷き詰め、欄干に紅白の布を巻き、正面には金の刺繍入りの龍の幕を巻き、屋根の下には提灯をぶら下げ、屋根の前後に御幣をつけ、地車の四方に行燈を取り付ければ飾り付けの完成です。地車が鮮やかによみがえりました。



午後四時、JA物産センターに集合。自治会長挨拶の後、いよいよ宵宮のスタートです。太鼓は子ども達が交代で叩きます。実行委員長のかけ声と曳き手が一体となり、地車が動き出します。地車の動き方によつて太鼓の叩き方が変わります。また、コースのポイントでは地車を停止し、据え太鼓を叩きます。ここで子ども達は、練習の成果を発揮し、参加者の皆さんから拍手をあびます。日が暮れ始めると、提灯に火がともり、いよいよ宵宮の雰囲気一段と盛り上がります。

私事ですが、宵宮しか参加できませんでしたが、宵宮巡行を無事終えることができてほっとした気持ちになりました。参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。

# つたに負けたな!

## ミニエッセイ集 第3弾



▽コロナがまだまだ収まる様子はありませんが、今年はずつと行事的なことも復活し、止々呂美も盆踊り、秋祭りの地車巡行がありました。地車巡行では、子どもたちがたく太鼓と鉦の音が普段静かな村に鳴り響いて、地車を引く人たちの笑顔も印象的でした。来年はいろいろなことが制限なしで行われるようになってほしいと願います。



N

▽私には今でも忘れられない歌があります。何十年前前の古いことですが、一番上の子どもが卒園式の時に歌った「思い出のアルバム」です。「いつのことだか 思い出してごらん」の歌詞で始まる歌です。幼稚園生活が詰まった歌で、子どもの成長とともに感動で涙が止まらなかつたのを、今でも鮮明に覚えています。

その時の子どもも、子どもを持つ親になり、歌は変わってもあの時の感動は受け継がれていつても思います。

K

▽子どもたちがそれぞれ独立して夫婦二人の生活になり、楽しくできた料理にも張り合いが持たず、食事の準備が煩わしく感じられるようになりました。子どもがいた頃は、栄養のバランスもできたのですが、以前、「私は自分のために、自分の楽しみとして料理をしている」と話されていた方がおられました。私は別に自分を押し殺していたとは思わないけれど、自分を脇に置いて周囲や家族に合わせる生活を長く続けていると、本当の自分は何が好きで何がしたいのかがわからなくなっているのですね。今も一度、自分のしたいことを思い出すことから、自分らしく生きたいと思ひ、何歳を過ぎたから遅いとか、常識的におかしいとかの、固定観念を捨て、いろんな事に挑戦して、楽しいと思えることや夢中になれることを見つけないと思ひています。

T

▽(サッカーワールドカップ)日本にとって、悲劇の地と長年言われてきたカタール、ドーハでまさかの歓喜が訪れるとは。初戦ドイツに先制された時点で何割の人がドイツに勝てると思つたでしょうか。また、日本が死のグループを

突破できると思つたでしょうか。私は恥ずかしながら、日本がドイツに先制された時点であきらめかけていました。大人になると、おそらくこうなるであろうという先入観で物事を決めてしまふ、あきらめてしまふといった物事に対する姿勢に偏つてきている気がします。

今一度、簡単にあきらめない気持ちの大切さに気付かされたような衝撃を受けて、予選リーグの日本の活躍、ブラボー!!!

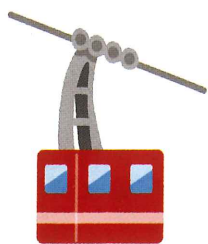
T



▽散歩中ふと頭を上げると、ダリアの王様、皇帝ダリアが目に入った。

青い空と、美しく紅葉した周囲の山々を背にそびえ立つ、ピンク色をした立派な皇帝ダリアが咲いていて、とても印象的でした。この花は木枯らし吹く季節に開花する花です。今年も大好きな皇帝ダリアに出会えて幸せを感じた一日でした。来年は私も是非咲かせたい花です。ダリアの中で最も高く育つ種類でそんな雄大な雰囲気の花です。乙女の純潔」など女性の心や気持ちを表しています。

O



▽十一月初旬、久しぶりに従兄弟たちと神戸で集合し、布引ハーブ園に行った。新神戸駅よりロープウェイに乗り山頂まで登った。天候に恵まれ、ロープウェイからの神戸の街並みや、神戸港からの眺めはとても素晴らしい感動した。山頂を散策したのち皆で談笑しながら昼食をとった。帰りはロープウェイに乗らずハイキングコースを歩くことにした。途中、植物園に立ち寄り珍しい植物や花々を鑑賞した。コスモス畑では色とりどりの花が咲き乱れており、とてもきれいだった。そうこうしているうちに、急な坂道に差し掛かり、総称布引の滝(夫婦滝、鼓ヶ滝、雄滝、雌滝)が現れ始めた。四つの滝を右手に見ながら、ひたすら坂道を下つていき、ようやく新神戸駅に着。久しぶりに気持ちの良い汗をかいた。

夜は海沿いのホテルに泊まり、夜景がとてもきれいだった。久しぶりに従兄弟たちと語らい、楽しい一夜を過ごすことができた。

M

▽我が家にはスイーツじゃんけんと呼ばれるものがある。

それは主人が仕事帰りに買ってくるコンビニデザート。じゃんけんて勝った人からスイーツを選んでいくという方法だ。これは子どもたちだけが小さい頃から行っている。これだけを聞くと、子どもたちを楽しませるために行っているんだなあと思うだろう。しかし我が家では違う！じゃんけんで負けた子どもが拗ねても順番は譲らないし、交換もしない。スイーツ好きな私は子どもだからといってもその時だけは容赦しない。

さて、今日も主人がコンビニスイーツを買って帰ってきた。そして今日も本気の「じゃんけんタイム」が始まる。



▽世間ではよく趣味の時間を持つのは良いと言われます。このコロナ禍の中、制限された日常で、ふと立ち止まり考えた。今からでも自分ができる楽しいこと。

最近では町ゆく人を見ると、ウォーキングやランニング、それぞれ

れ自分のできる運動をしている人が増えていると聞きます。この恵まれた住環境の中、ウォーキングから始めるのはいかがでしょうか？まずは三十分。そして一時間。自分の空いた時間、隙間時間に自分の好きなことをする。それだけで自分の日常が贅沢に充実した自分の時間になった気がします。

自分の時間を作ってみませんか？



▽十月下旬の日曜日、軽井沢に行った。特に目的の無い一人ぶらり旅。軽井沢は昔、会社の研修でよく行っていたのと、近年は年に一度はゴルフで行っているの、何となく地理感がある。

軽井沢駅の観光案内所で観光地を物色して、熊野皇大(こうたい)神社に行くことにした。山奥にある神社なので、紅葉が見られるかもと思ったからだ。

駅前からタクシーに乗り、別荘地帯を抜け、山道(中山道)を上り、約十五分で神社に到着した。街路樹や山道から見える風景は、紅葉が始まっていた。

熊野皇大(こうたい)神社は、お社の中央で、長野県と群馬県に分か

れており、県境の神社として有名ならしい。長野県側を「熊野皇大神社」、群馬県側を「熊野神社」とい、一つの神社でありながら二つの宗教法人が存在する何とも珍しい神社だ。「日本三熊野」であり、最近では『マツコの知らない世界』で紹介されたことから、県内はもとより県外からも参拝に訪れる人が増えた。「話題の神社」だそうだ。熊野皇大(こうたい)神社を参拝した後、旧軽井沢銀座通りを散策した。コロナ禍にも関わらず人波であふれていた。旧軽井沢銀座通りから徒歩二十分で軽井沢駅に到着した。

最後に軽井沢駅で夕食として益子焼の土釜に入れられているという点が特徴の駅弁で「日本随一の人気駅弁」と評されたこともある『峠の釜めし(とうげのかまめし)』を買って軽井沢を後にした。

一日、有意義に過ごせ心身ともにリフレッシュできたぶらり旅でした。



▽十一月初旬、新型コロナウイルス感染症が気になって迷ったあげく、ギリシヤ・トルコを巡るエーゲ海クルーズに参加することにしました。

サントリーニ島ではギリシヤ国旗のごとく、建物はどれも白と青のコントラストで統一したかのよう、清潔感と明るさあふれる光景でした。

トルコのエフェソス遺跡では神殿の石柱などの断片が手付かずのまま放置されていて、それが遺跡全体に力強さを強調していました。

アテネでは、パルテノン神殿は写真で感じていた印象とは異なり、その重厚さに圧倒されました。この圧倒感、アテネ国立考古学博物館で展示されていた古代の石像などを間近に見て感じた、落ち着いた雰囲気と重なっていました。

この博物館では、遺跡にあった本物が手で触れられる程に開放的に展示されていて、撮影も自由だったのには驚きました。この自由さは、現地ではマスクを着用している人が殆どいなかったことと関係しているのでしょうか。

この旅行を通じて西洋と東洋の原点の差を実感したように思いました。

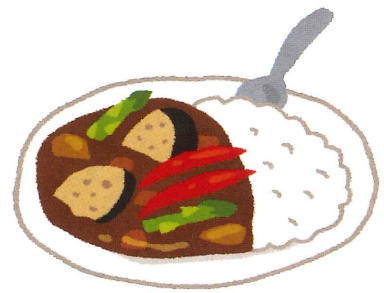
▽スパイスカレーが好きだ。一週間に一度は食べる。コリアンダー、クミン、ターメリック、辛味成分の唐辛子と、最後仕上げにガラムマサラだ。あと、トマトピューレのパック、塩、玉ねぎが基本。ニンニクと生姜も有れば入れたらいい。作り方の本を見ると、こだわりがあつて手順がいろいろ書いてあるが、私は簡単にしたい。スパイスと塩の分量さえきっちりしてたら問題ない。

玉ねぎ240グラムとニンニク生姜各4グラムを炒めて、スパイス(コリアンダー5グラム、ターメリック、クミン、唐辛子各2グラム)と、塩2グラムとトマトピューレ120グラムを入れ、少し水分を飛ばす。

鶏もも肉も良いが、私は合いびき肉が良いと思う。肉200グラムと水200グラムを入れて煮込み、少し水分を飛ばして、仕上げの塩4グラムとガラムマサラを軽めにふり、カレーは完成。表記は四人分なので、肉と水を入れる前のものを二つに分けて冷凍しても良い。

スパイスにはそれぞれ効能があつて、漢方のような役割がある。翌日調子が良いとか聞こえが良い、というほどではないがまた一週間くらい経つとそわそわしてくる。辛いのが苦手な人は、唐辛子を減らすか無しにすればよい。コクが欲しい人は、乳製品や醤油をプラス。もし作りたくなったらぜひ作っていただきたい。

K



▽この止々呂美・森町のエリアはベースは森林で、通常普段の生活においては自然豊かでのどかな雰囲気満喫出来て近隣の京阪神都市部とは全く異なり言わば異次元の世界の様だとも言えると私は思います。

そついうのどかな異次元の日常を過ごしていると、コロナ感染症・ロシアのウクライナ侵攻・熊本地震・首里城火災・北朝鮮からのミサイル暴発・統一教会問題・梅田の個人医放火等別の世界で起きているというような錯覚に得てして陥ってしまうのが人の浅はかさだとも思っています。

とどろみ地区と森町地区は自然・住環境が全く異なりますが、日常のどこかで先述の恐ろしい事象に対

する対応を計画的に検討し作っておく必要があると思うのです。日常生活と異なる北朝鮮の事件や統一教会等の政治・紛争・宗教等の事を地域の情報ソース等においてこのように言及するところか右派や宗教猛者のように誤解される事が日本では起こりがちだとは思いますが、冷静に考えるとそんな誤解をする余裕は今の日本には無いと考える方がいいと思います。

誰もが先述のような恐ろしい事象をなるべく自己の身にも降りかかってくるかもしれないと考える方がいいし、それは備えあれば憂いなしに繋がると思うのです。

備えあれば憂いなしの実践をして一方では日々の自然環境を満喫する日常生活を味わいたいです。

T



### 編集後記



三年前はマスク不足で、頂いたマスクを大事に洗って使用していた。今は在庫も増え、家には十数枚常にある。手洗いや手指の消毒は当たり前。最近外を歩くとマスクの着用義務はなくなつた。春には五類に分類されて、室内でのマスク着用義務さえなくなる。

地域の行事も少しずつ復活してきている。夏には盆踊りが開催され、秋には上下だんじりが姿を見せた。しかし第八波の勢いは激しく、高齢者の死亡者数の増加が哀しい。

百パーセントの安全などない。けれど、最低限の注意を怠らなければ、普通の生活に戻りつつある。

ミニエッセイを読みながら、皆様の生活を想像する。自分一人ではないことを実感する。助けたり助けられたりしながら、人は生きていく。日々感謝。そして小さなところから、周りに手を差し伸べる人でありたいと思う。

T



## 森町子育てサロン「森の子のひろば」と 森町カフェの取り組みについて

森町子育てサロンは、2021年6月より活動開始。森町自治会館にて、当初は月1回で開始しました。途中からお母さん方からの要望により、月2回の集まりになりました。翌年2022年3月より社協のサポートを得られ、福祉会総会にて子育てサロンの取り組みが承認され当初はささえあいステーションで、場所を共有させて頂きながら、6月よりささえあいステーションの場所の隣を借り、スタートさせてもらいました。

参加人数は多い時で親子8組。職場復帰で参加できなくなった方もいるので、最近は6組程度の参加。母子の参加が中心。時々きょうだいの参加もあります。取り組みの内容として、ヨガ教室が好評で、お母さん方の産後ケアにもなり、利用する方も徐々に増えてきております。今では口コミで10～11組くらいに増えてきております。

そして6月から遅れて1か月後、7月より「森町カフェ」をささえあいステーションでオープンさせて頂きました。主に子育てサロンが終わった後、利用されている方がほとんどで、日頃の悩み事など、情報交換・交流をしています。時には、それ以外の方、来所されている方にも利用していただいております。

カフェでは、折り紙などを教えて頂けるボランティアの方にも手伝っていただいております。出来上がったものは、子育ての親子に配ったりしてお土産にしています。



ヨガ教室



ハープ演奏



折り紙教室

社協

072 (749) 1575

(箕面森町ピースガーデン内)

コミュニティハウス

第2・4水曜日

(スノーピーク箕面自然館内)

ふれあいルーム

第1・3水曜日

日時 毎週水曜日 13時～16時

場所

是非、お立ち寄り頂き、生活のお困りごと、地域活動のお悩み、お気軽にご相談下さい。

例えば（相談例）  
最近、隣の人の様子がおかしい。少し気になるな…  
定年退職したが、これまでの経験を地域に役立てたい。  
他の自治会はどんな活動をしているんだろう。 など

地域の皆様が気軽に来られる場所を目指しております。

令和四年度より「ささえあいステーション」の開設が箕面市内全域の十四校区になり、地域の住民や団体、事業所などの支え合いがますます重要になってきます。

ささえあいステーション  
箕面市  
社会福祉協議会

社協 阪本日佐夫